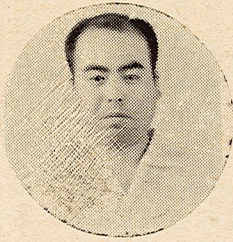


上田千曲高校同窓会報

発行所 長野県上田市中条626 上田千曲高等学校同窓会 TEL 07070 千386 代表 中野隆雄 印刷所 秀信社

同窓会活動を活発に

会長に就任して 中野隆雄

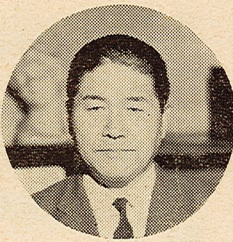


新緑の折柄、同窓生諸氏には益々健康に活躍のこととお慶び申し上げます。さてこの度は皆様の推挙を賜り、同窓会会長に就任致しましたが、何分にも浅学非才の身であり、又私の性格上この種の任に就くことは誠に苦手であります。しかし、一旦お引受け致しました以上はそのような身勝手なことを云々おられませんので、私の出来得ます範囲内で皆様の意に添うよう誠心誠意に当り私の任期を全うする覚悟であります。よろしくご指導ご鞭撻の程お願いいたします。

上田実科高等女子学校という名は私にとって懐かしい名であります。明るく伸び伸びとしてスポーツが強く実技のよく出来る学校、私もよく知っている信州教育界で錦々たる名を高く上げて下さっていること

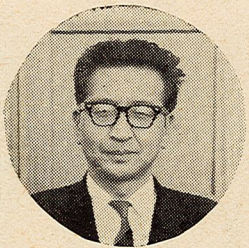
飛躍への期待

学校長 岩下美千穂



集った方々は商工学校を千曲高校をこよなき愛し立派になったと喜んで下さいます。千曲高校が各々から愛され期待され同窓の皆さんが立派に社会に貢献して母校の名を高めて下さっていること

同窓会報創刊号に寄せて



同窓会報創刊号をお祝いいたします。同窓の諸兄が各界に活躍されて

お知らせ

同窓会名簿 6月下旬発刊 代金 送料とも 600円

同窓の諸兄が各界に活躍されて

定時制主事 小布施徳治

この状況を見、又聞き、上田千曲高校の力強い年輪を感じています。本校の卒業生は、真面目で、真摯であるとの世評に答える資質は、何によって培われてきたのか、計り知ることでもできませんが、その一因として、古代より信州の文化地区として繁栄してきた上田の祖先の血脈がその資質になっていると思ひます。又千曲河畔の素材な風物が、四季の変化をこの学舎に与え、三年、四年の学園生活において、人生の美しさ、楽しさ、その意義を教えたものと思ひます。

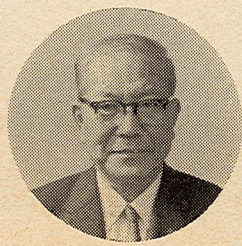
職員異動

昭和四十五年度

御転任 御新任 御退職

- 本校在職期間 十一年間 松代高等学校へ 商業科 石坂信也先生 本校在職期間 七年間 須坂商業高等学校へ 御退職 教頭 竹内敬太郎先生 本校在職期間 二年八ヶ月 御新任 教頭 花岡久先生 坂城高等学校教頭より 社会科 御子柴国武先生 望月高等学校より 商業科 早川宗男先生 榎井沢高等学校より 事務室 竹内和雄先生 上田東高等学校より

前校長 池田正三



上田千曲高等学校の歩み

十月でした。校舎の瓦は剥かれ、廊下はこわされて、大変に荒れた校舎でした。授業にで、さらに驚いたことは、机も椅子も

昭和二十二年に建築料の実習工場が新築されましたが、建物が出来たので、設備等は皆無でした。その頃学制改革が行われ、新制中学校が新設されたことになり、旧制中学校は、高等学校になることになりました。この学制改革に処するため、上田市は新学制準備協議会を結成し、その委員に市側から教育担当職員、市会議員代表者数名、市民の代表者数名、学校側から、小学校長六名、中学校長三名、高等学校から、女学校長と商工学校から私が委員になり二か年間にわたり、数十回の会議を行い研究討議を重ねました。最初に基本方針として、小学校を六校、中学校を三校、高等学校は、女学校と商工学校を合併して、一校設立することが一応決定しました。決定したものの、財政負担と建築資材の不足を考えたとき、これを実施することは、容易なことではありませんでした。このう

をもつて当校定時制課程の存在の意義が大きくなるものと思ひます。その形態は如何であらうとも、そのときにこそ、本校定時制課程の創立の意義を失ってはなりません。諸兄の指導と協力を期待いたします。同窓生諸兄の今後の繁栄と活躍を祈っております。

同窓会役員

- 名誉会長 岩下美千穂 会長 中野隆雄 副会長 田中重信(男) 石川則子(女) 理事 青柳行則、荒井久子、一之瀬鉄男、今井静子、海川清子、上羽貞子、金井勝、窪田昭三、栗内公人、小林郁夫、小林かね子、小林小芳、酒井登子、榎井登茂美、佐藤次雄、島川幸子、竹内七郎、出口守三、中村万寿男、成沢秀敏、西沢静枝、長谷川芳子、花岡和義、松沢良三、丸山照子、宮沢幸子、宮原一夫、依田昭子、校内係職員 丸山登一郎(主任)、内山道弘、大川秀一、久保敏小泉好武、清水洗、春原浩一、高橋弘、林明男

題字は岡川桂城先生

昭和四十五年度 同窓会総会は左記によって開催されます。 一、日時 九月十三日(日) 午前十時 一、会場 本校会議室

交流

同窓会の多角的な活動を期待

水沢 長康

始業ベルの合図で一斉に機械が運転され、毎分一、二〇〇回転の速さで「巻たばこ」が製造されていく。一日当たり約三千万本、年間約八億本のペースとハイライトが製造されて関東以北の愛煙家の皆さんの手元に届けられている。忙しい仕事の中で憩の一眼として紫煙を立ちのぼらせていると思うと仕事にも一段と力が入るといっても可い。

これが我々の職場、つまり日本専売公社上田工場の毎日である。昭和二十三年に当時の鐘淵紡績から大蔵省が買収し、翌年の一月にたばこ工場として発足以来二十年あまり、今日ではこの地方でも有数の企業に発展してきたのである。従業員は約七〇〇人、その内、女性が約六十パーセントを占めているがまさに女性上級の職場といえることができる。

(二十三年機械科卒)

現住所・勤務先の変更や改姓等異動の際は
(〒386)
上田市中之条626
上田千曲高等学校 同窓会 宛
必ず御連絡願います。

心を大切に

宮尾 輝夫

古代から今日まで異様な進歩発展を遂げ今日に至っている。日進月歩文明社会は急速な進歩に発展開花してきたがしかし一向に変わらないものがある。それは人間の心、人の心にはあまり変わらない。文明社会は繁栄したが我々自身の心は近代社会に合せて育てる事が出来なかつたと言っても過言ではあるまい。それだけに心を育てることがますます大切な事だ。

人類の長い歴史の歩みは戦の中にあったとみてよい。またこの世は争いの世の中だとされるがそれもこの世の中、あくまでも人間が主体でありこの世の中に生れた人はすべて人間なのだ。そしてすべての人間は「心」が中心である。

この心でお互いに豊かに幸福な生活を実現するために役立つ。そこ人間が人間として存在意義があり価値があるのだ。

しかし現実はどうだろうか。人を落してまでも自分が上になろうと人を恨み、人間同士を傷つけ合いその人間を粗末にする。

私はこうした現実の姿をみるにつけてますますこの気持ちを強くするのです。

(四十二年定期制第一回卒)

いかにしたら心を育てる事が出来るのか。良い事も悪い事もみな心の持ち方にある訳です。心は人から与えられるものでもなければお金で買えるものでもありません。自分から心に糧を与え教養に光を保つことが必要なのである。人間として生れ生活を営むには和を以て人と接する。これこそ世の中が丸くなり人々の心も丸くなるのではなからうか。

人間を幸せにするその救いの相手が神ではなくすべて人間の心からであるから。

そんな事をいつも思っています。

(四十二年定期制第一回卒)

私の職場

二宮 康子

私が上田信用金庫に勤め始めてまる四年になろうとしています。現在川原柳支店にいます。せまい建物で人数も十四名と少ないのですが小さくまとまった楽しい職場です。

私は金庫へ入りいろいろな事を学びました。学生時代、ある先生が学生の時はいかげんな事をしているもよいが社会へ出ると常に百点の事が要求されると言われた事がありました。職場ではミスは絶対に許されません。私はどちらかと言うとめんどろな事はきらいで事を合理的に考える方なので失敗もありましたが、そのたびに先生が言われた事を思い出して二度と同じ失敗は繰り返さないように心に誓ったものでした。

私たちは毎朝、朝礼をしてきます。一月一度当番がまわってきます。その日は必ず、日報自分が感じている事、本や新聞を讀んだ感想等、五分間位話します。人前で上手に話す事はたいへんです。二、三日前から話す事を

考え努力していますが、きっと自分のためにプラスになると信じています。

よく「働く女性は職場の花」と言われます。「私は男性と同じ給料をもらい、同じ仕事をしています。」と言っている人も知れません。でも、男性には男性の女性には女性にしかできない仕事があるはず。

私が入った時は毎日お茶くみ。お茶がしぼりのぬるいので文句を言われるたびに明日こそは美味しいお茶を入れよう努力しました。「私はお茶くみにきたのではありません。事務をこなしてきたのです。」と言っている人もいます。お茶くみは新人女子職員の仕事、男性がお茶くみをしている姿を想像して「あら可愛い。女性に職場のやさしい花。男性のつかれかけた心をやわらわらせてあげる、やさしい花。」

私はそう信じています。

(四十一年 商業科卒)

高校生気質の今昔

清水 洗

十年前昔と申しますが、私が本校前身の女学校に赴任したのは、支那事変の真最中で、夏休みに学校で兵隊のチャッパとスポン下を縫う、勤務奉仕をしていた昭和十五年、当時の学校は今の、清見小学校北側校舎の処にあって、高等小学校の併設校であった。

あれから三十年、すべてが変りましたが、

(1)日本は敗戦により大きく変わった。殊に自由思想と民主主義の普及徹底したこと。

(2)自身の心身が変った。考え方も変った。

(3)変らないのは生徒諸君の年令である。

こうした中で、生徒気質の今昔を比較することは到底不可能なので、此処には只私の思い出るまゝを書いてみたい。

一、就任当時の生徒

「質実剛健にして勤勞を尊び……」の實踐者として、感じ、恐ろしい程までよく働いた。

二、教員検定試験

補習科卒業生は、ほとんど小学校専科教員検定試験に合格し、教職に就く者が多かったが、その為には、すい分勉強したものである。

三、学校行事

当時は生徒数も少なく、行事は学年又は全校が対象で、登山、強歩、スキー等が行なわれ、すい分歩いたが、落伍者も少なくはなかった。

卒業式には、皆泣いてしまった。卒業生がいつまでも別れを惜んで帰らないで困った。私も若かったもので、乙女の感傷に心から同情したものである。今はこうした風景は全く見られなくなったのは、ほとんどの卒業生は就職し、新しい集団生活に入るの、希望にもえているのである。

二、勤勞動員、敗戦以降

今更そんな古いことをといわれども、私は軍需生産に食糧増産に

骨身を削る思いで働いた当時の生徒諸君を忘れることができません。私は学校を出ても何も出来なかつたが、今の人は勉強も運動も出来るし、本も読めて本當にうらやましい。出来ればもう一度、生徒になりたてと語った私はあの敗戦で全國民が混乱と無気力の中で、学校は続けられたが、学校の運命や校舎問題等、職員も生徒も共に悩み、その解決のためには喜んで努力奉仕をしてきた。このことの善悪は別として、その成長果は校内の到る処に見られ、成長した樹木に、通路の石一つにも先輩の汗がにじんでいるようにも思える。

このことを明らかにし、お互に理解を深めるものが、今回の名簿である。特に私共のようにたくさんの人々の生徒時代を知っている、現在の動静は、時間をへたてた、卒業生とのなつかしい対話である。私は心から、皆様の御健康と御多幸を祈りつつ、ペンを動かしたい。

カリフォルニアで

永井 憲三

上田千曲高校のみなさん、日本のみなさんお元気ですか。ぼくは今アメリカに留学してInternational Businessの勉強をしています。

期待と不安を胸に五色のテープと下の音の中をみんなに見送られて横浜港を静かにすべり出したのは六月三日でした。

以前からアメリカ大陸を夢見ていたぼくが、それだけの力と重荷に欠けていたのです。

しかし今は二、三のいろいろなことを学んでいます。こうしてアメリカで生活していると、ぼくが今まで気づかずにいた日本のいろいろな

ろな点があるのが透明なガラスでも通して見ているようによく見える。今までは日本人の感覚で日本という小さな国から見てきたり、想像したりしていた。しかしこのような今までの考え方がすべてでないことに気がついた。とにかく吸収することの多さに驚いておりアメリカへ留学することができてほんとうによかったと思つていま

アメリカは飛行機と車の国です。この国で車のないのは足のないのと同じことです。ガソリンが安い(一ガロン約26円)のも一つの理由でしょう。

夜もふけてきましたが、地球の裏側の日本は今ごろ太陽の輝りつける昼でしょう。こうして机に向って筆を執っている日本での、いや千曲高校の機械科で学んだことが、つきつきとぼくの脳裏をかきめぐって絶えません。

(四十二年機械科卒)

進路状況

職業指導主事 塩入 富雄

私が昭和二十八年八月は求人を探さないとどうも困った。一年四ヶ月の学校へ赴任してから丁度十七年になる。当時各企業とも求人を探さないとどうも困った。指定校の枠を取るのに三年かかるところもある。そんな状態だったので、大企業へ就職する生徒も少なく、就職戦線は激烈を極めた。いまにして思えば、全く嘘のような話である。三十七、八年頃から求人数も増え、四十二年を契機として急激な上昇を示している。今年度(四十四年度)の求人申込み会社の総数は約二万件を数えるに至つた。聞くところによれば、各企業の充員計画に達しているところはよいほうで、ほとんどの企業は深刻な労働力不足を訴えているのが現状であり、この当分の間は就職難の心配はなさそうである。

ちなみに、本年度卒業生(四十五年三月卒)の進路状況は一覽表の通りである。

区分	卒業数	進学	就業	就職者の内訳										
				県内	他	東京	神奈川	埼玉	茨城	栃木	岐阜	愛知	大阪	
建築	39	10	1	28	4	4	19							1
機械	75	21	2	52	16	18	7	3	1	1			3	3
電気	67	11	1	55	12	18	17	3	1				1	3
商業(男)	7	2	5	5	1		4							
商業(女)	81	10	3	68	53	9	4	1					1	
家政	118	23	2	93	67	10	13		2				1	7
計	387	77	9	301	153	59	64	7	3	1	1	1	5	7

44年度(全日制)卒業生進路状況

登下校



校門を入ると右側が家庭科の教室である。と想つたら聞くとそこは家政科と商業科、それから家政科の研究室があることなるほど多勢の女生徒の間に数人の男子がいる。このクラスは商業科なのかも知れない。

ところで今日は久しぶりに用事があり、恩師を訪ねて見た。門から本館に至るまでの桜の並木に、しばし見とれる。せわしきでいっばいだった胸の中にさわやかな空気が快くひろがる。

本館の前を過ぎて瓢箪池のところで公任のおじさんを発見した。うれしかった。変っていない。やわらかな木々の身から、桜の花の下から、辺りの教室の窓の中から若く健やかな雰囲気があふれ出てくる。薄暗い教室とは反対に、何と明るいことだろう。

「同窓会規約」改正される

上田千曲高等学校同窓会規約
昭和四十五年四月一日改正
(設置)
第一条 本会は長野県上田千曲高等...

昭和44年度決算

長野県上田千曲高等学校同窓会歳入歳出決算書
金 487,609円 (歳入決算額)
金 374,146円 (歳出決算額)
金 113,463円 (歳入歳出差引 翌年度繰越金)

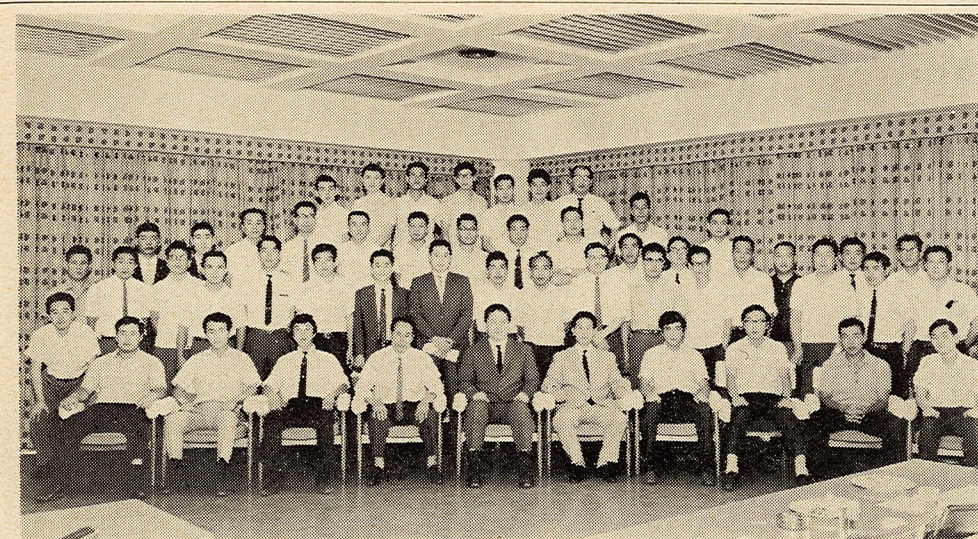
昭和45年度予算

Table with 4 columns: 項目, 決算額, 予算額, 増減. Rows include 前年度繰越金, 終身会費, 利息, 合計.

Table with 4 columns: 項目, 決算額, 予算額, 増減. Rows include 総会費, 会議費, 旅費, 事務費, 支部補助費, 記念品費, 予備費, 名簿作成費, 合計.

Table with 3 columns: 項目, 本年度予算, 前年度予算. Rows include 44年度繰越金, 会費, 利息, 合計.

Table with 4 columns: 項目, 本年度予算, 前年度予算, 増減. Rows include 総会費, 会議費, 旅費, 事務費, 支部補助費, 記念品費, 新聞費, 予備費, 名簿作成費, 合計.



支部をつくろう!!
同窓会東京支部建築部会第四回総会が、四十四年七月二十日(日)に東京赤坂の都道府県会館で開...

三、会計 小宮山寛 二十年卒
丸山昇一 三十四年卒
堀内孝 二十一年卒
小山隆雄 二十四年卒
新会長の挨拶があった後、いよいよ呼び物の映画が上映された。

編集 後記
今まで本校同窓会には会報なり会誌などというものはありませんでしたが、その代りに学校新聞を...